株式会社サイバーセキュリティクラウド

東証マザーズ市場：4493

2021年2月12日

エグゼクティブ・サマリー ❶ 業績サマリー

- 売上高、各段階利益において、通期予想を上回る結果に
- 営業利益は、通期予想を上回る203百万円（通期予想対比113.5%）を達成

売上高※1（通期） P7

1,194百万円

前年同期比 ＋46.2%増

営業利益※1（通期） P7

203百万円

前年同期比 ＋41.2%増

ARR※1（年間経常収益） P8

13.5億円

前年同期比 ＋43.9%増

総ユーザー数※2 P10,11

2,876ユーザー

解約率 P12,13

攻撃遮断くん 1.24%

WafCharm △16.9%

保有データ数（累計） P38

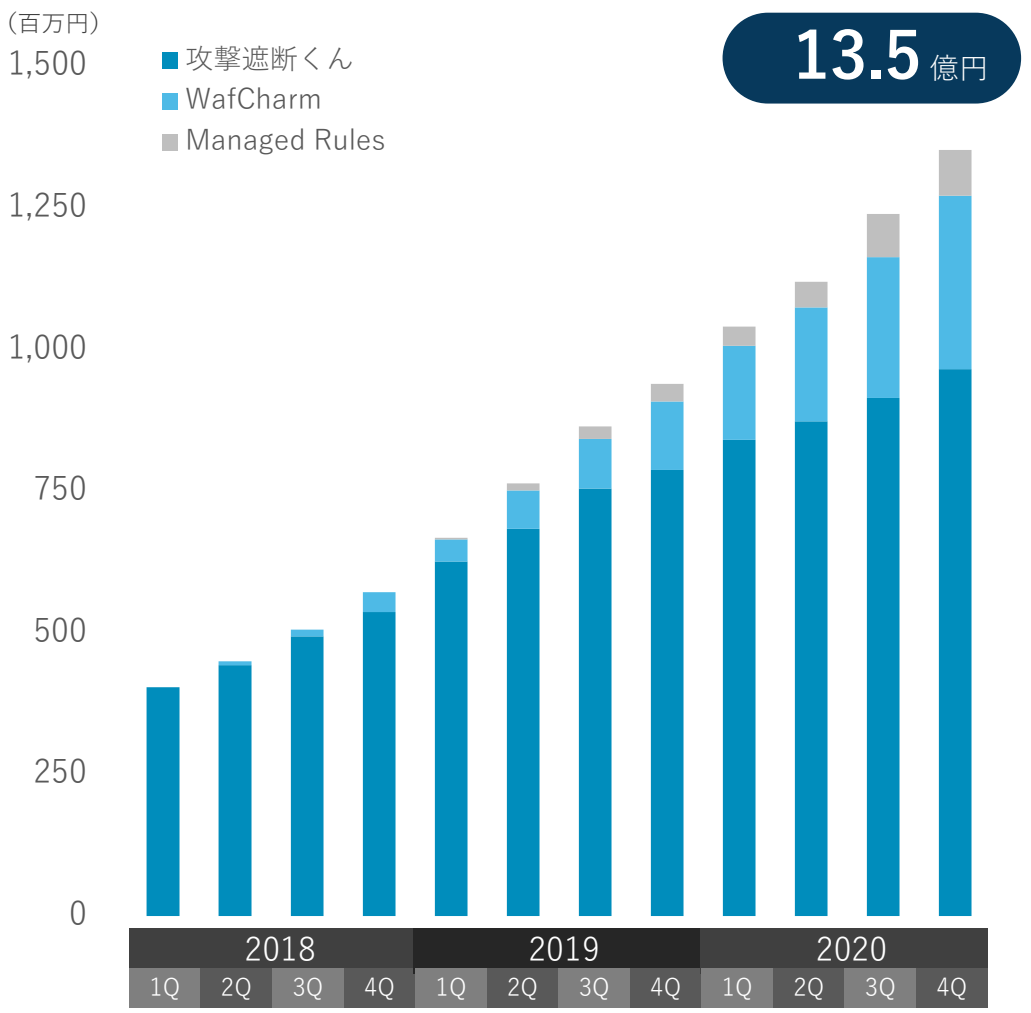
1.9兆件超

※1 サイバーセキュリティクラウド単体ベース
※2 攻撃遮断くん、WafCharm、Managed Rulesのユーザーを合計して算出

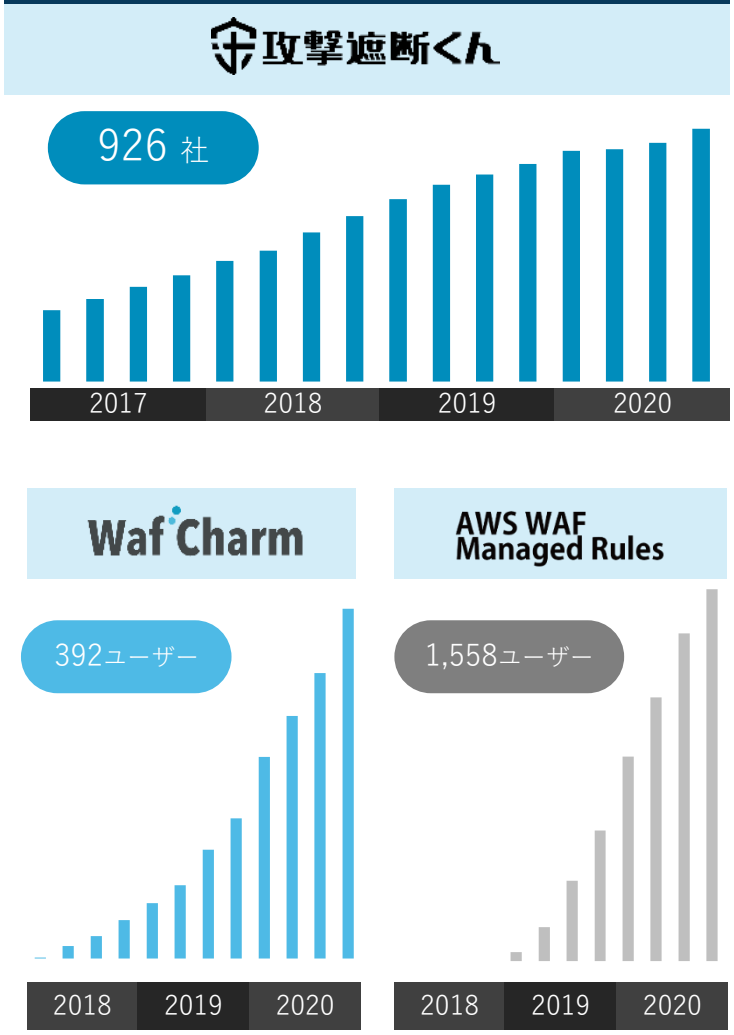
(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

エグゼクティブ・サマリー ❷ 主要プロダクトサマリー

ARR（年間経常収益）



主要プロダクトの導入数※推移



※　各プロダクトにおける2020年12月末時点のエンドユーザー数を元に算出（当社調べ）

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

エグゼクティブ・サマリー ❸ FY2020 4Qの実行施策

M&A

M&Aによる事業領域の拡大

M&Aにより、株式会社ソフテックを取得。

Webセキュリティ（WAF）に続く新たな領域として、**Web脆弱性診断**と**脆弱性管理**ビジネスを拡大。相互にシナジーを生み出し、クロスセルが可能に。

ビジネス進捗

大手企業との販売連携の加速

大手企業との新規代理店契約の獲得

富士通Japan、インターネットイニシアティブ、 LRM等の新たな販売代理店契約を締結。
今後も代理店による拡販を狙う。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

目次

Ⅰ. 2020年12月期 第4四半期 決算概要 6

Ⅱ. 2020年12月期 第4四半期 ビジネス進捗 18

Ⅲ. 2020年12月期 通期 ビジネス進捗 22

Ⅳ. 2021年12月期　通期業績見通し 26

Ⅴ. 今後の成長戦略 31

Ⅵ. 参考資料 39

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅰ．2020年12月期 第4四半期 決算概要

業績の概況

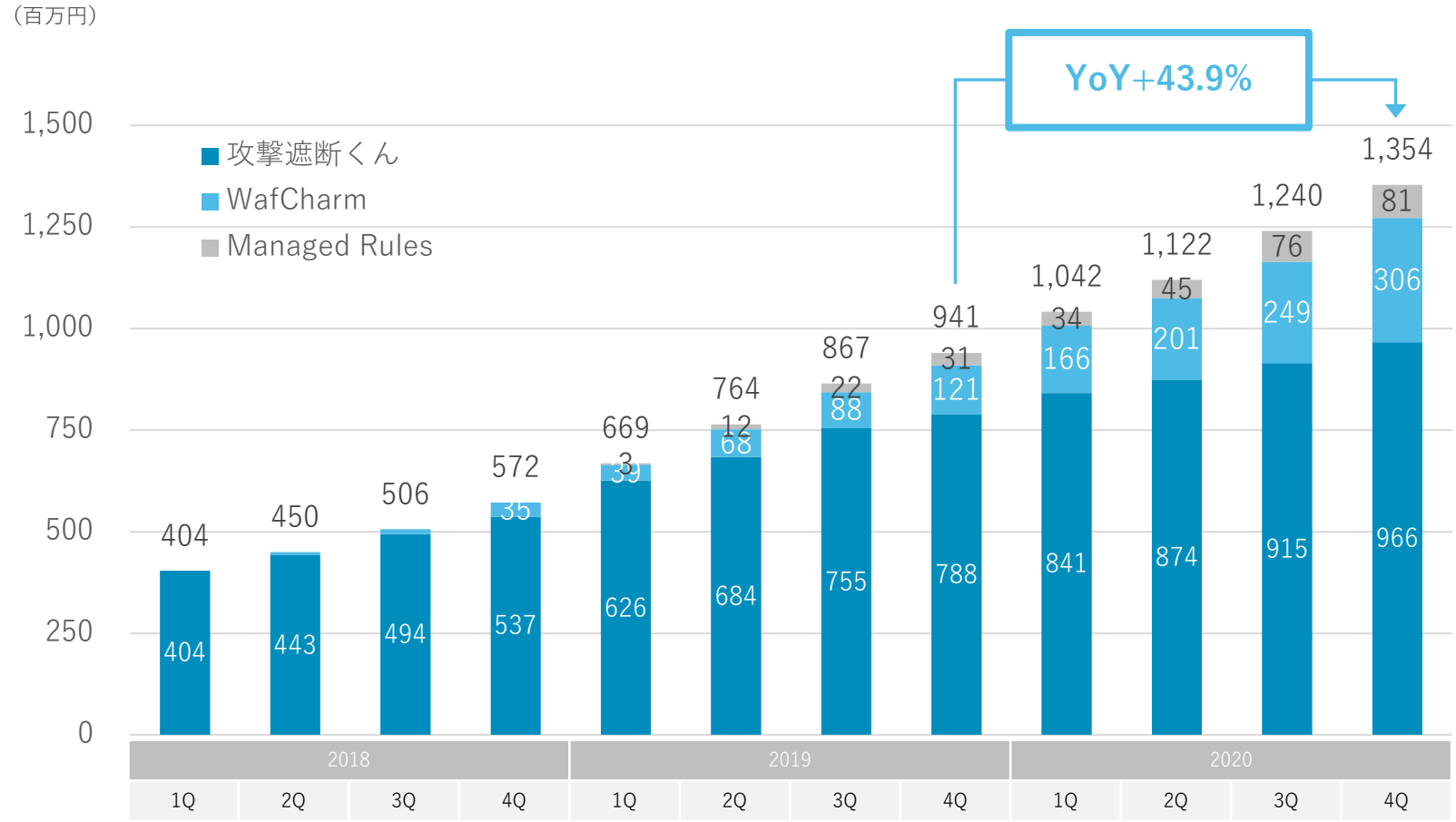
- 売上高、各段階利益ともに通期予想を達成。
- 前年比で売上高は+46.2%の増収、営業利益も+41.2%の増益で着地。

（百万円）	2019年12月期 単体 （前期）	2020年12月期 単体 （当期）	前年同期比	2020年12月期 通期予想	進捗率
売上高	**816**	**1,194**	**+46.2%**	**1,126**	**106.0%**
攻撃遮断くん	728	919	+26.2%	952	96.6%
WafCharm	71	216	+202.4%	143	150.7%
Managed Rules	16	58	+261.6%	30	190.4%
売上総利益	**583**	**816**	**+39.9%**	**745**	**109.5%**
営業利益	**143**	**203**	**+41.2%**	**179**	**113.5%**
営業利益率	**17.6%**	**17.0%**	**-0.6pt**	**15.9%**	**-**
経常利益	**141**	**187**	**+32.0%**	**166**	**112.7%**
当期純利益	**153**	**149**	**-3.0%**	**140**	**106.4%**

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

ARRの推移

- 全社ARRは前年同期比＋43.9%増の13.5億円まで拡大
- WafCharmが順調に増加し、ARRが3億円を突破



ARR：Annual Recurring Revenueのこと。対象月の月末時点におけるMRR を12倍することで年額に換算して算出。
MRRはサブスクリプション型モデルにおけるMonthly Recurring Revenueの略で、既存顧客から毎月継続的に得られる収益の合計のこと。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

各プロダクト主要KPI

- 主力の攻撃遮断くん加え、第二の柱となるWafCharmが大きく成長
- WafCharm Azure版もリリースが完了し、さらに拡大させていく

		2019年12月期 4Q（前期）	2020年12月期 4Q（当期）	前年同期比
攻撃遮断くん	ARR（百万円）※1	788	966	+22.6%
	利用企業数（社）	798	926	+16.0%
	ARPU（千円）※2	988	1,043	+5.6%
	解約率（%）※3	1.06%	1.24%	+0.18pt
WafCharm	ARR（百万円）	121	306	+152.6%
	ユーザー数	157	392	+149.7%
	ARPU（千円）	773	782	+1.2%
	Net解約率（%）※4	1.4%	△16.9%	−18.3pt
Managed Rules	ARR（百万円）	31	81	+159.4%
	ユーザー数	547	1,558	+184.8%
全社合計	ARR（百万円）	941	1,354	+43.9%

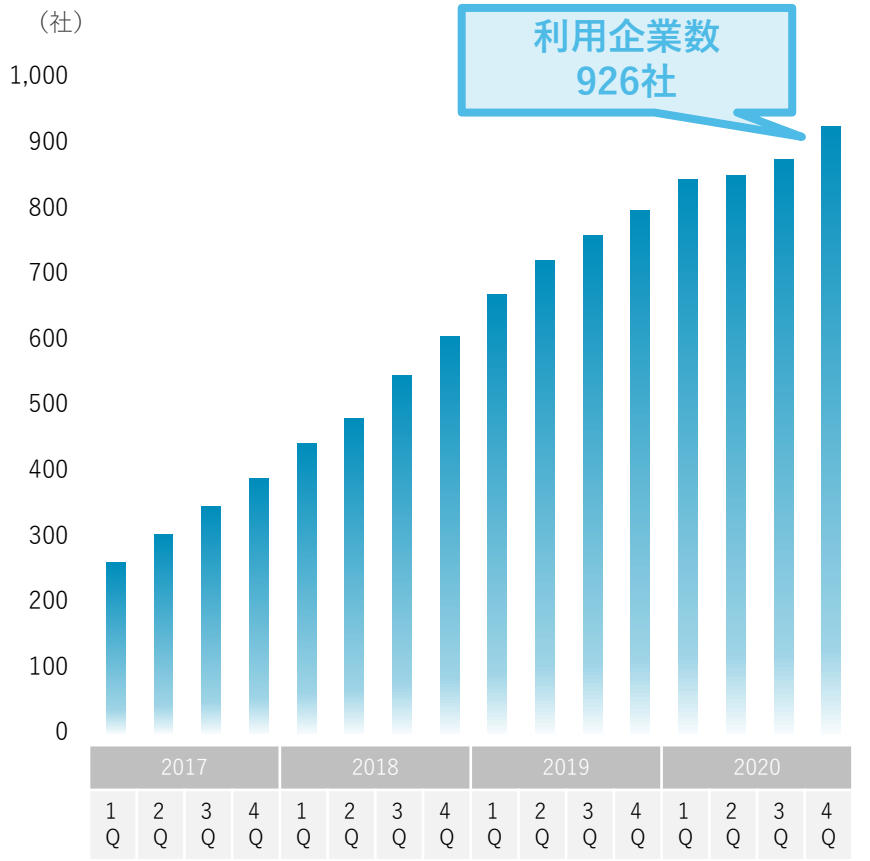
※1　対象月の月末時点におけるMRR を12倍することで年額に換算して算出。
MRRはサブスクリプション型モデルにおけるMonthly Recurring Revenueの略で、既存顧客から毎月継続的に得られる収益の合計のこと。
※2　Average Revenue Per Userの略語。１社当たりの年間平均売上金額
※3　MRRチャーンレートの直近12ヶ月平均をもとに作成。MRRチャーンレートとは、当月失ったMRRを先月末時点のMRRで除すことで計算される実質解約率。
※4　N-1期末時点における課金ユーザーにおける、N期末時点までに増減したARR÷ N-1期末時点におけるARRで算出。
Net解約率がーの場合、既存ユーザーのアップセル及び従量課金売上による増加額が、解約やダウンセルの金額を上回っている状態。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

順調に拡大してく主力製品の攻撃遮断くん

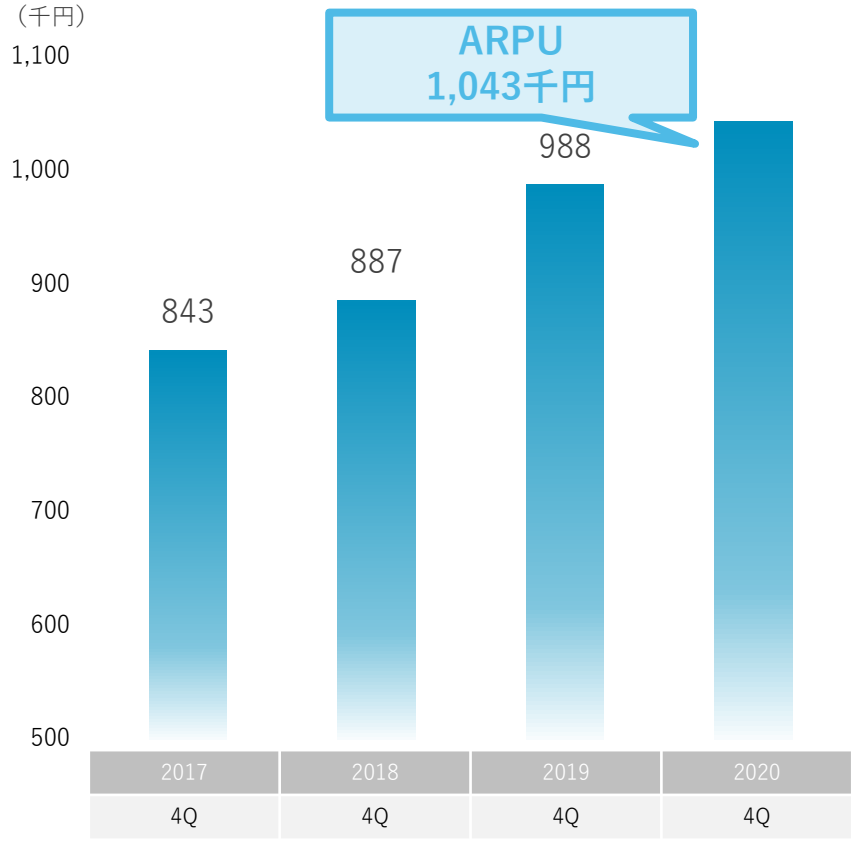
- 利用企業数が順調に増加。また、アップセル(サイト数・サーバー台数の増加、帯域UP)等により、ARPUが増加

攻撃遮断くん利用企業数※1



※1　2020年12月末時点のエンドユーザー数を元に算出（当社調べ）

ARPUの推移※2

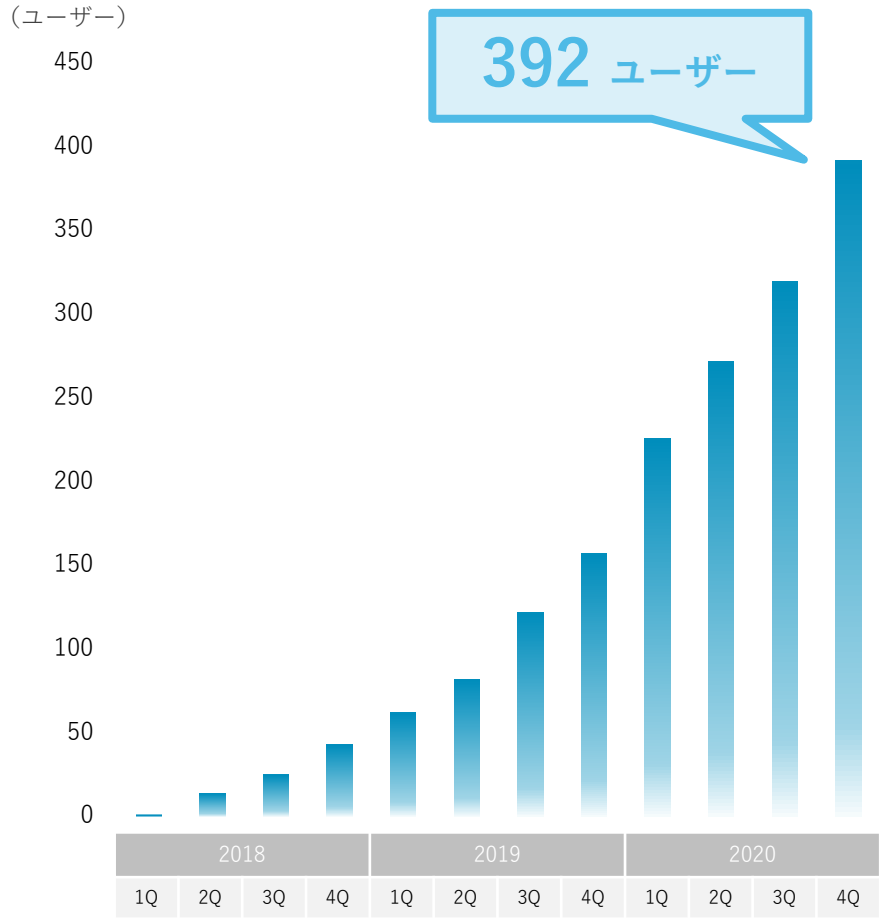


※2　Average Revenue Per Userの略語。１社当たりの年間平均売上金額

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

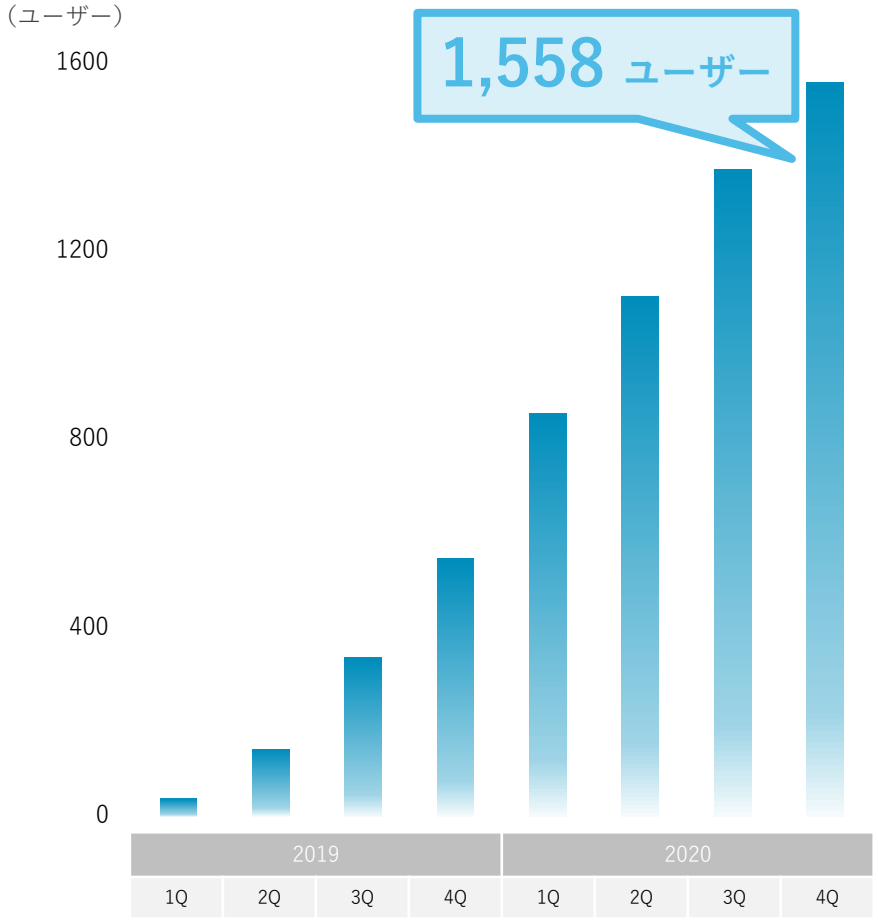
AWSユーザー向けプロダクトの高い成長率

WafCharm課金ユーザー数※1



※1　2020年12月末時点のエンドユーザー数を元に算出（当社調べ）

Managed Rulesユーザー数※2

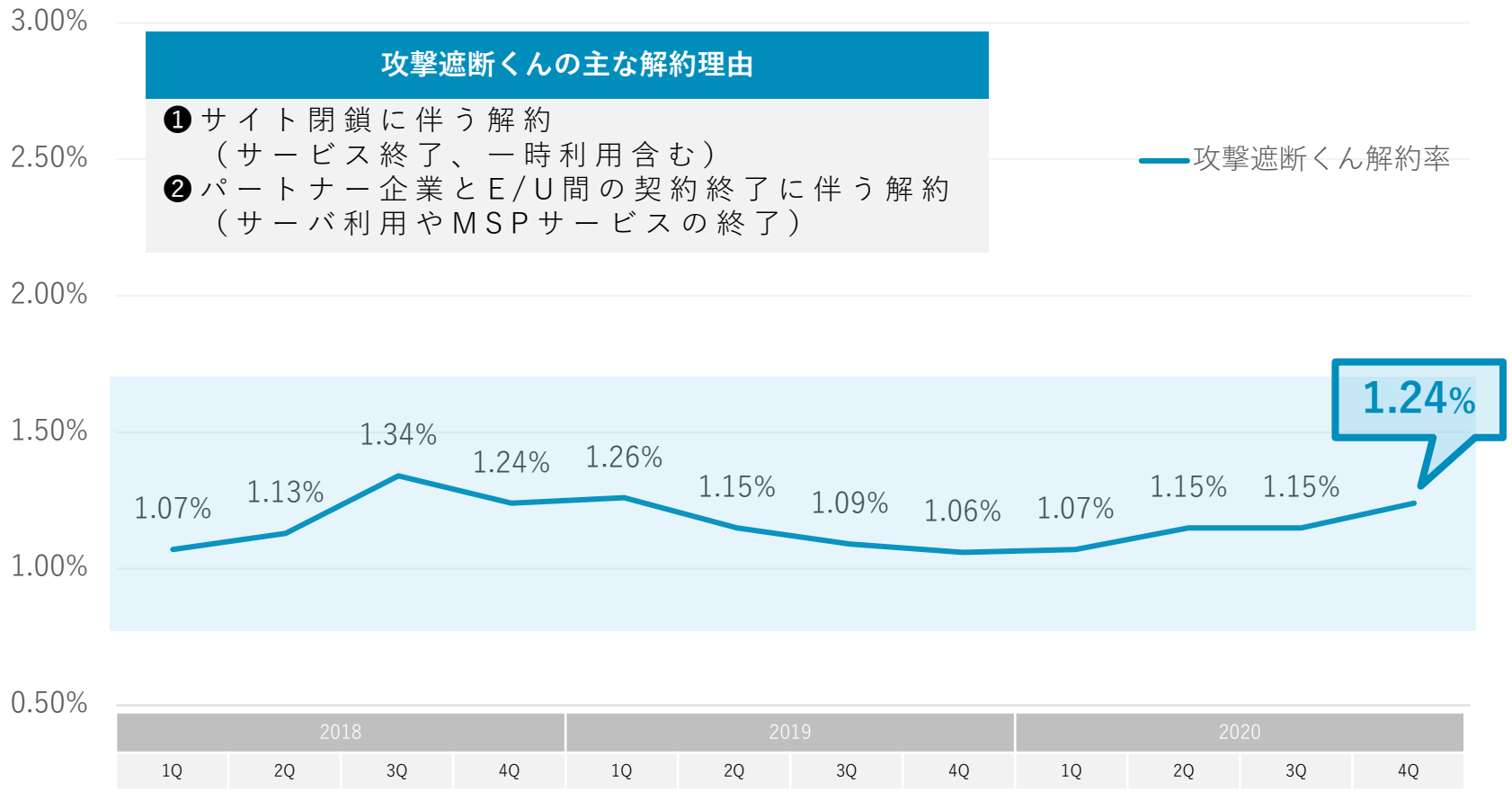


※2　2020年12月末時点のActive Subscriber数の合計を元に算出（当社調べ）

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

攻撃遮断くん　解約率

- 攻撃遮断くんの平均月次解約率は微増するも、1%前半と低い水準で推移
- 解約理由にサービスへの不満は少なく、多くのユーザーが継続的に利用



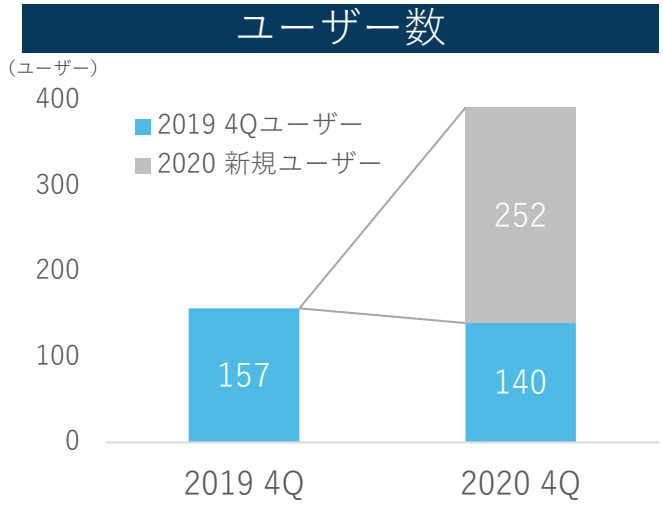
※「攻撃遮断くん」におけるMRRチャーンレートの直近12ヶ月平均をもとに作成。
MRRチャーンレートとは、当月失ったMRRを先月末時点のMRRで除すことで計算される解約率。

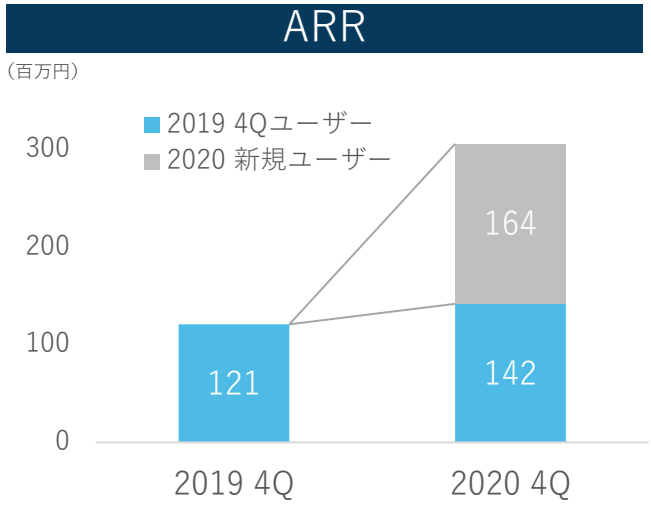
(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

WafCharm　解約率

● ユーザー数ベースの解約率は1%前後発生するものの、アップセルや利用増加に伴う従量課金で単価が上昇し、 Net解約率はネガティブチャーンを達成

	2019	2020			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
解約率※1（ユーザー数）	1.4%	1.1%	0.9%	1.2%	**0.9%**
Net解約率※2（ARR）	1.4%	△35.4%	△7.2%	△16.3%	**△16.9%**



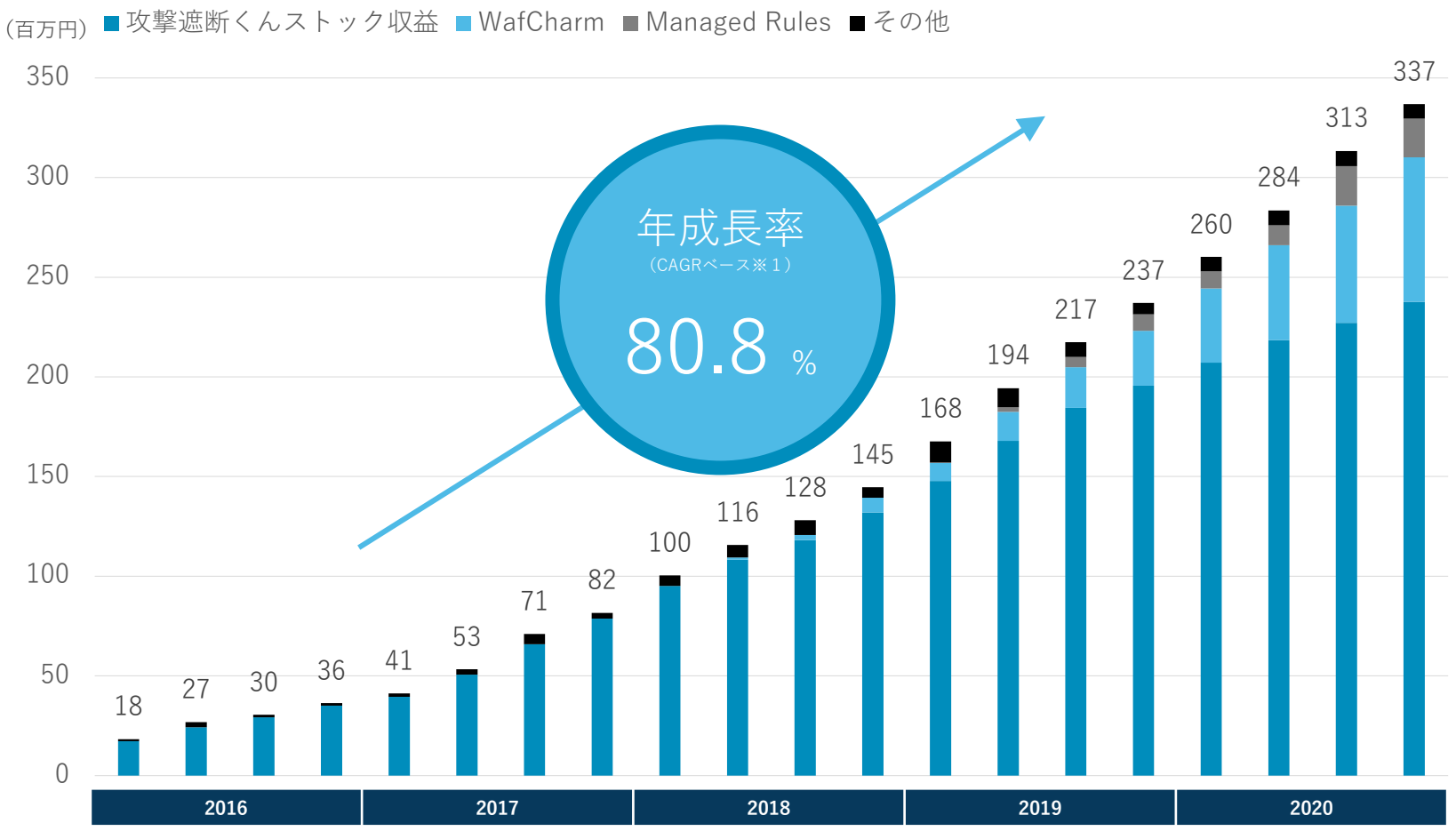


※1 N-1期末時点で契約していた課金ユーザーのうち、N期末時点までに解約となった課金ユーザー数÷ N-1期末時点における課金ユーザー数 ÷ 12ヶ月で算出。
※2 N-1期末時点における課金ユーザーにおける、N期末時点までに増減したARR÷ N-1期末時点におけるARRで算出。
Net解約率がーの場合（ネガティブチャーン）、既存ユーザーのアップセル及び従量課金売上による増加額が、解約やダウンセルの金額を上回っている状態。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

売上高の推移（四半期）

● 継続課金（攻撃遮断くんストック収益、WafCharm、Managed Rules)が
売上高の大部分を占め、高成長を維持

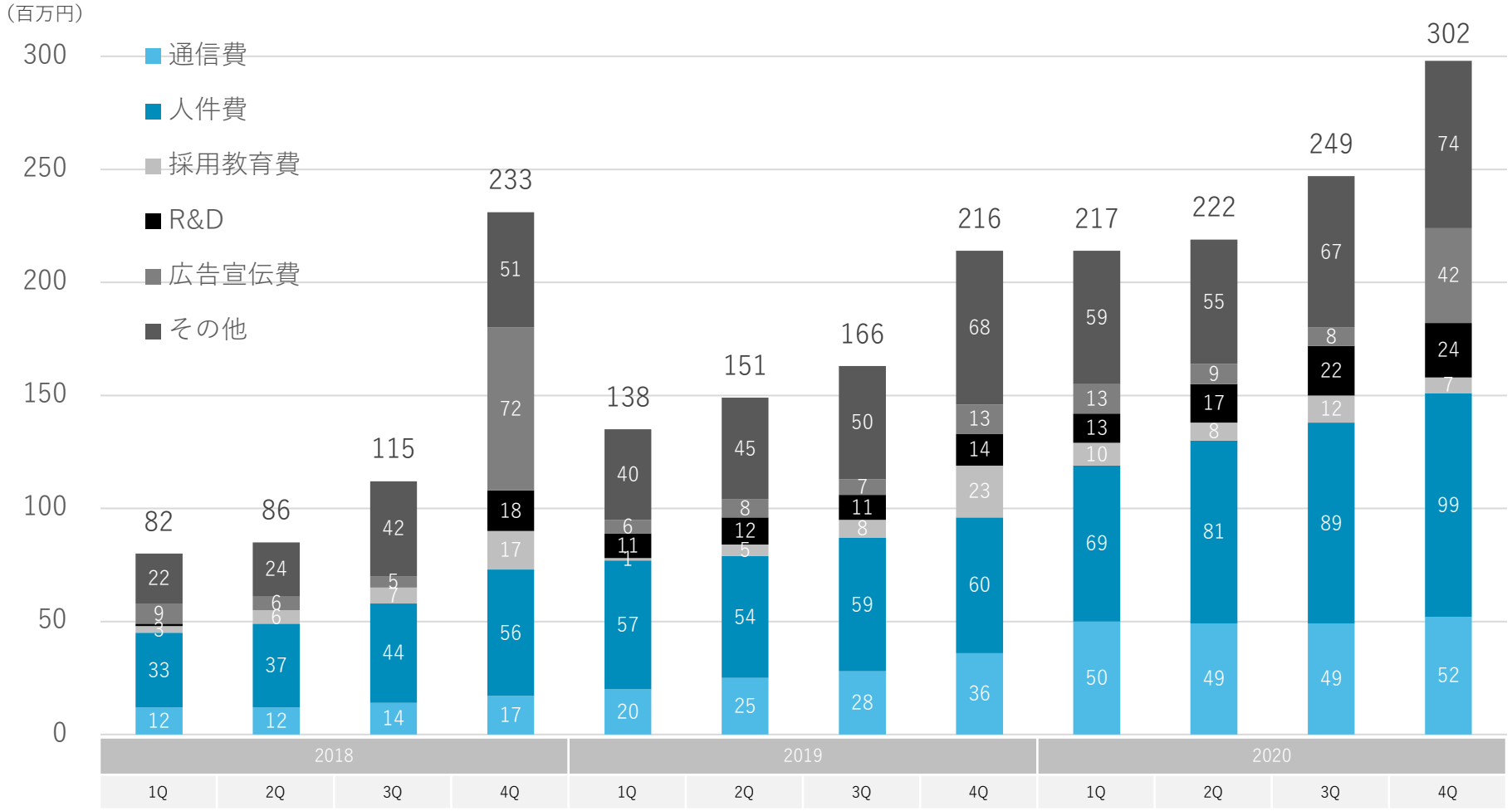


※1　2016年から2020年の売上高の年平均成長率
※2　2016年については未監査

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

営業費用（売上原価・販売費及び一般管理費）の推移

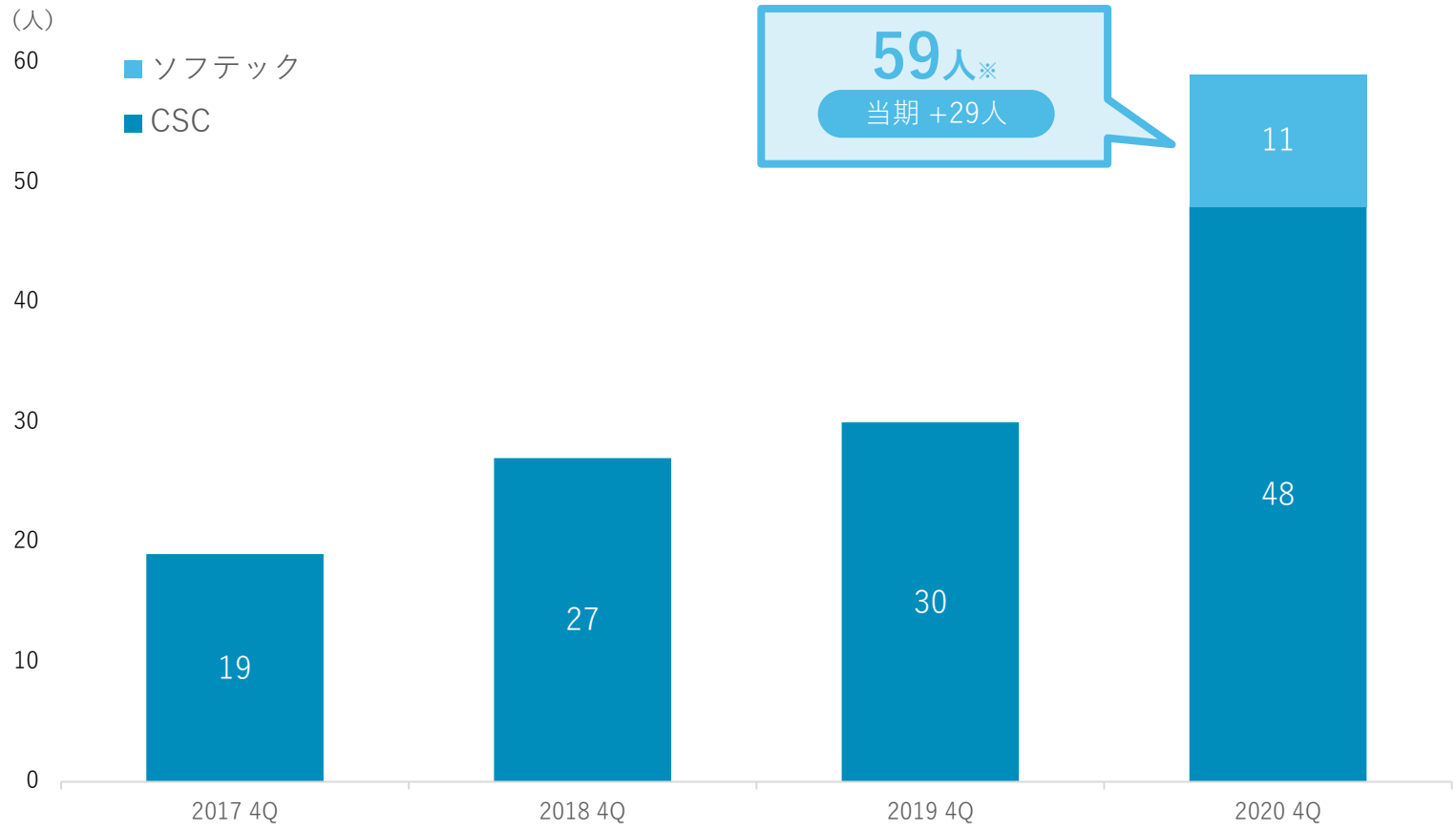
- 新規採用による人件費増、R&D強化によりコストが増加
- 2020年4Qは潜在層へのリーチのため、広告宣伝を集中的に実施



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

サイバーセキュリティクラウドの成長を支える従業員

- 上場に伴う信頼度向上なども影響し、採用が加速。当期は単体で＋18人の増員で着地
- ソフテックの11人が加わり、グループ全体で前期末比約2倍の人員体制に



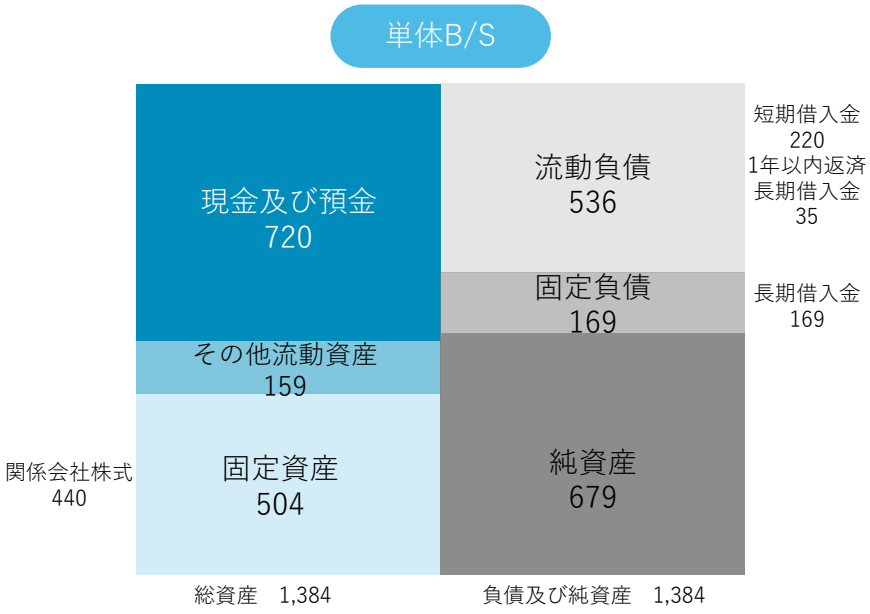
※　2020年12月末時点のサイバーセキュリティクラウド及びソフテックの従業員数合計

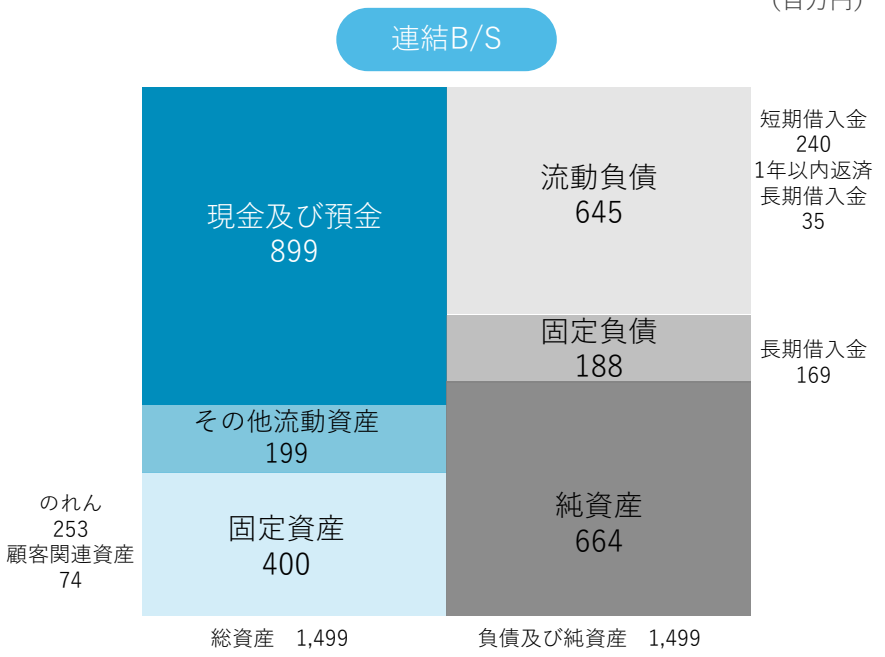
(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

ソフテック子会社化による連結決算への影響

- 当期末より、買収したソフテックを連結子会社としてB/S上取り込む
- P/Lについては、2021年12月期１Ｑより本格的に取り込みを開始

（百万円）





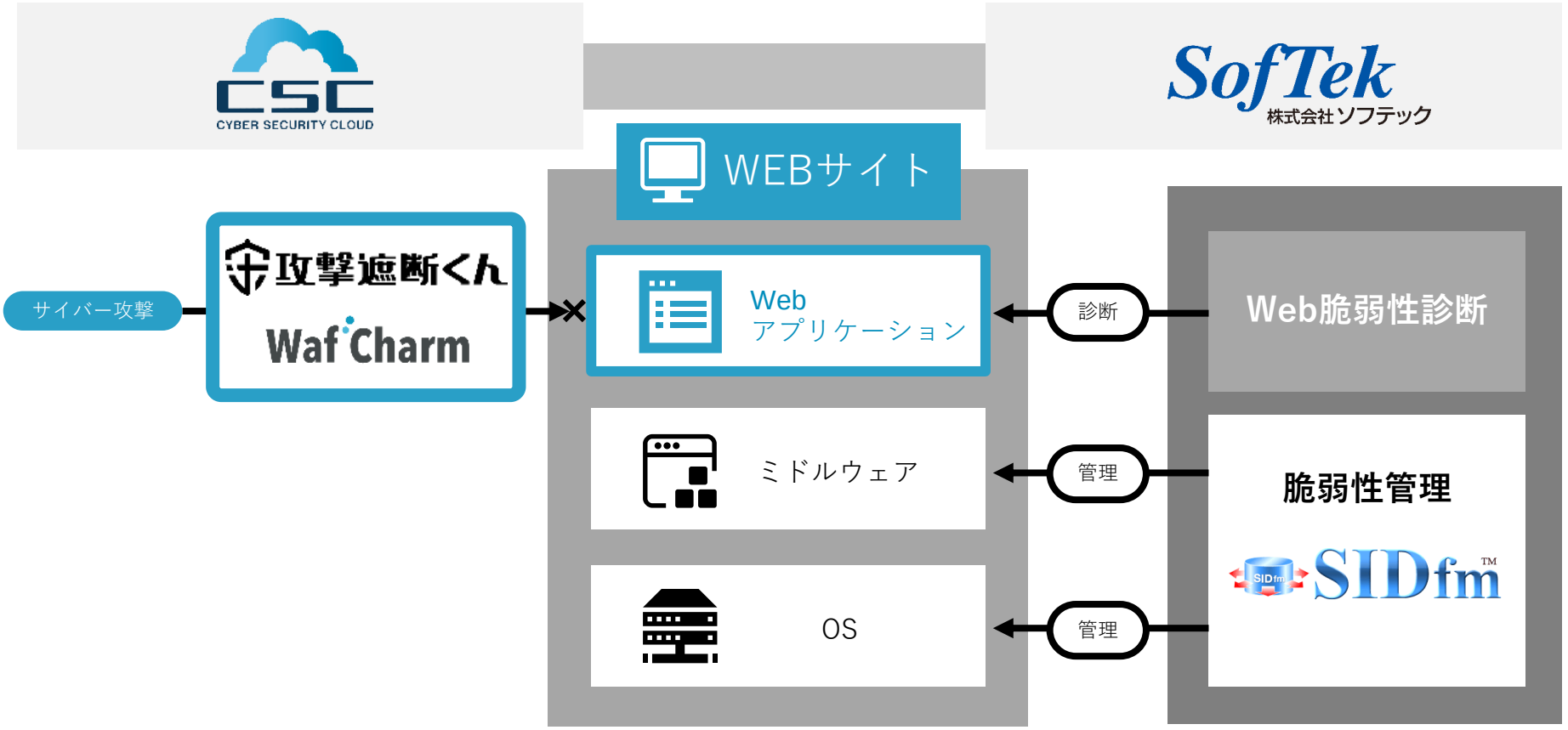
(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅱ．2020年12月期 第4四半期 ビジネス進捗

株式会社ソフテックの子会社化

- 株式会社ソフテックの全株式を取得し、セキュリティの領域を拡大
- WAF領域に、脆弱性管理及びWeb診断領域のシナジーを最大化していく

両社が手掛ける対象領域のイメージ



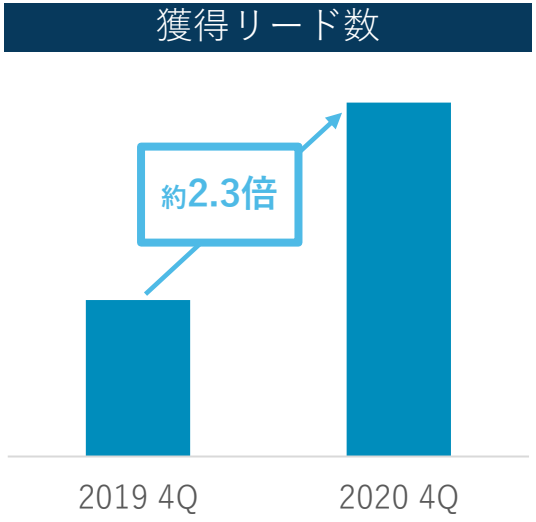
(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

広告投資の拡大

- 2020年4Qより、小泉孝太郎氏を活用した動画広告等を含む、広告投資を実施
- 2020年4Qの獲得リード数は、前年同期比で約2.3倍と、過去最高のリード数を更新

2020年4Q　注力広告投資領域

タクシー広告	Youtube広告	SNS（Twitter等）広告	セミナー（自社/共催）



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

コロナ禍での新ワークスタイル

- 新たなワークスタイルの確立を目指し、オフィスリニューアルを実施
- 中長期での採用強化とコスト削減を狙う

働き方の見直し

- テレワークを中心とした働き方を推奨
- フレックスタイム制のコアタイムを廃止
- 柔軟なワークスタイルにより採用強化を狙う

オフィスリニューアルを実施

- 画一的な作業空間から、多様な協働空間へ、オフィス内装をリニューアル。
- 従業員数の増加やオフィス利用率低下に備えるとともに、中長期でコスト削減が可能に。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅲ．２０２０年１２月期 通期 ビジネス進捗

直近1年で当社が発行したレポートのサマリ

● 攻撃検知レポートや調査レポートなど、様々な形で啓蒙活動を実施

公表時期	レポート	主な内容（トピック）
20年3月	経営層600人に聞く最新セキュリティ対策調査	・7割以上がサイバーセキュリティを経営リスクとして考えている ・WAF導入済みの企業は1割未満。
20年7月	2020年度上半期攻撃検知レポート	・緊急事態宣言期間中は、宣言発出前と比べ19%以上多い攻撃を検知
20年8月	サイバー攻撃の発生から発覚・公表までの期間に関する調査レポート	・攻撃の発生～発覚までに平均383日かかる ・攻撃の発覚～公表までに平均69日かかる
20年9月	2020年7月1日から8月31日を対象としたサイバー攻撃検知レポート	・2020年上半期平均攻撃検知数と比較して7月～8月はサイバー攻撃が30%増加
20年10月	業界ごとの個人情報漏洩事案に関する調査レポート	・漏洩事案、件数ともに小売業界が最多 ・全体に占める上場企業割合は43%
21年2月	サイバー攻撃検知レポート2020	・1sidあたりの攻撃は前年比で約10%増加 ・2020年は約10秒に1回攻撃を検知
21年2月	改正個人情報保護法成立後のサイバーセキュリティ対策に関する意識調査	・法改正を受け、8割以上の経営層が対策を強化する必要があると感じている。 ・WAFを導入しているのは6.7%

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

プロダクトの主なアップデート一覧

- 攻撃遮断くんは基本機能強化、AIを活用したシグネチャ改善などを実施
- WafCharmはプラットフォームの拡大とアップデート対応を実施

攻撃遮断くん

- DDoSセキュリティタイプ Webサイト入れ放題プラン新仕様提供開始
- ディープラーニングを用いた攻撃検知AIエンジン「Cyneural」を全面活用開始

WafCharm

- AWS WAFの新バージョンへのアップデートに対応
- マイクロソフト社が提供するAzure WAF向けに提供開始

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

導入企業及び販売パートナー（一部抜粋）

- 企業規模、業種業態を問わず幅広く広がるユーザー
- 2020年は攻撃遮断くんパートナー9社、WafCharmパートナー13社が新たに加わる

上場企業	ANA、キョクヨー、清水建設、FANCOM、istyle、aucfan、ほぼ日、UNITED
成長企業/その他	Classi、CAM、SOMPOリスクマネジメント、NEXWAY、マイナビ、PARCO、hachidori、coconala
金融/官公庁・公社・団体	SBI証券、浜銀総合研究所、つくば科学万博記念財団、東京財団政策研究所、筑邦銀行、全国信用金庫厚生年金基金
販売パートナー	FUJITSU、富士通Japan株式会社、GMOクラウド、TOKAIコミュニケーションズ、cloudpack、IIJ、NIFCLOUD、Serverworks、class method

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅳ. 2021年12月期　通期業績見通し

2021年12月期　業績予想

● 連結業績予想は、ソフテック業績の通期寄与により、売上高・利益ともに大きく成長することを計画

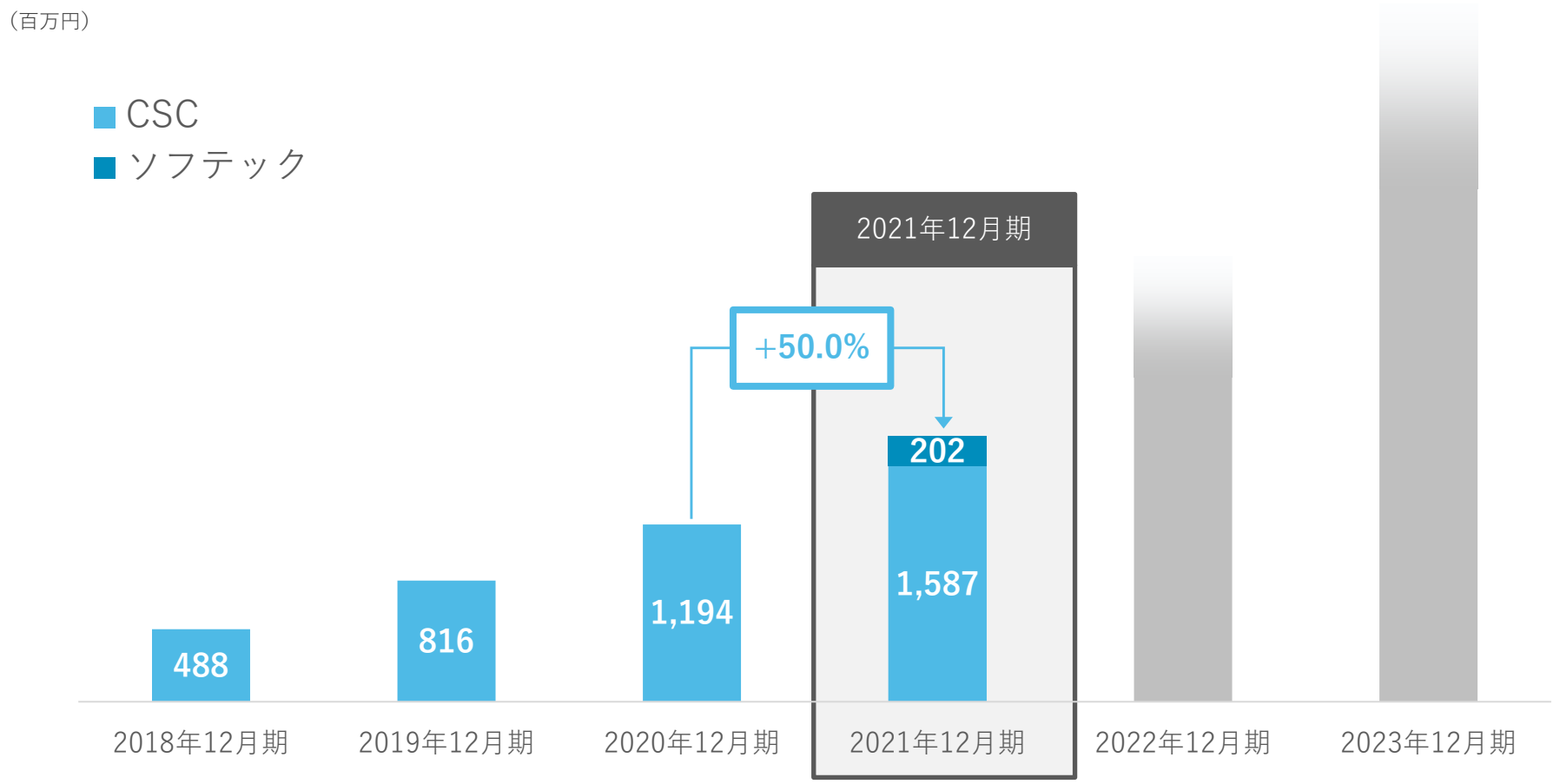
（百万円）	2020年12月期 連結実績	2021年12月期 連結予想	前年同期比
売上高	1,194	1,790	+50.0%
CSC	1,194	1,587	+33.0%
ソフテック	ー	202	ー
EBITDA※	193	287	+46.0%
営業利益	188	250	+32.8%
経常利益	172	247	+43.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	134	179	+33.7%

※　営業利益+減価償却費+のれん償却費

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

売上高の成長イメージ

- 2021年12月期は2020年12月期比で+50.0%の成長を見込む
- 2022年以降の成長に向け、グループ全体で各種施策に取り組む



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

プロダクト戦略～プラットフォームを活用～

● WafCharmを AWS、Azure、GCPの３大クラウドへ展開していく

Waf Charm

AWS WAFの自動運用サービス導入ユーザー数 ・・・ 国内 No.1※

Amazon Web Services | AWS

2017年12月～

Microsoft | Azure

2020年11月～

Microsoft Azure Marketplace上で公開開始。
今後もパートナー拡大とAzureユーザへの認知向上を狙う

Google Cloud Platform

2021年予定

2021年
GCPへの展開を予定。

※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要：2020年7月期_実績調査

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

新・経営体制

● 事業成長のスピードを上げながら、これまで培った技術をさらに強化するために、新たな経営体制へ移行。

代表取締役社長 兼 CEO※
小池　敏弘

国内外のSaaS・IT企業における
経営経験を活かし、
セールスおよびアライアンスを主導

代表取締役CTO
渡辺　洋司

蓄積されたデータと高い技術力を
活かしたサービス品質の向上と
新規事業の創出を牽引

※　2021年3月31日開催の定時株主総会及び取締役会を経て就任予定

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅴ. 今後の成長戦略

市場環境～急速に拡大するサイバーセキュリティ領域～

拡がるサイバーセキュリティ領域

クラウド化

DX

攻撃手法の多様化

個人情報保護法
改正

5G

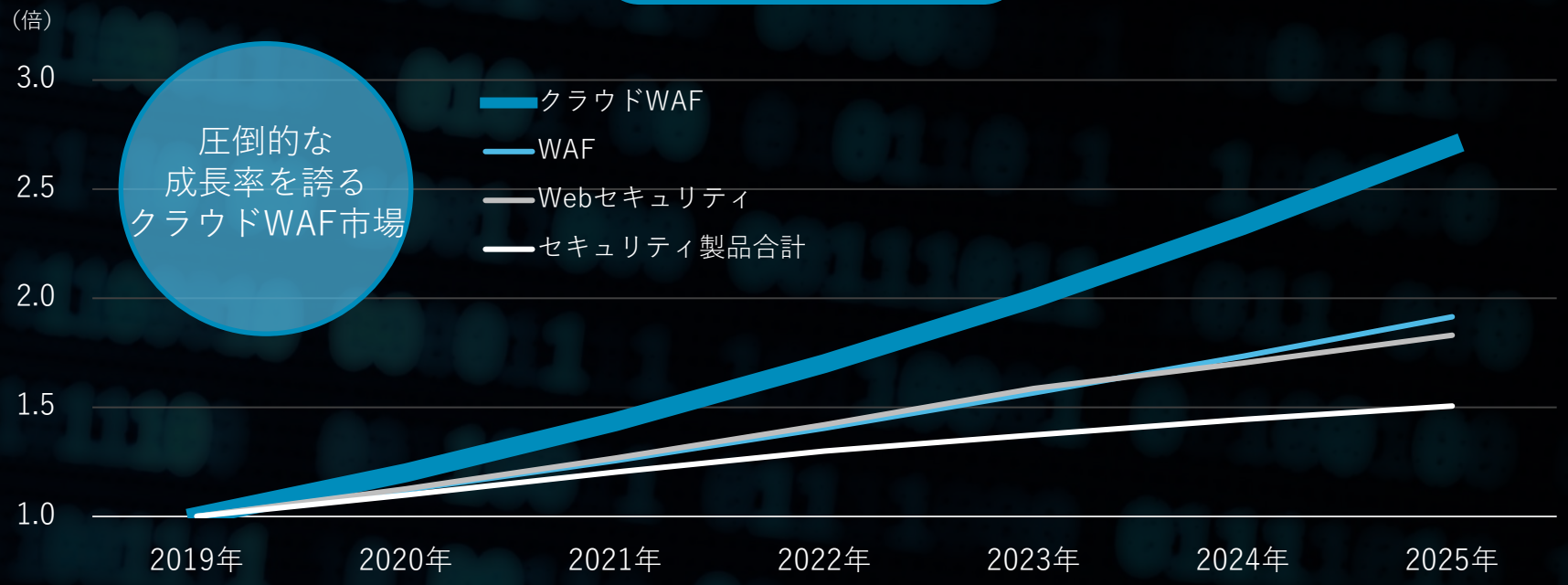
IoT

コロナ禍により、これまで以上にリアルからサイバー空間への移行が加速していく。
CSCのプロダクト普及にとって、圧倒的な追い風が吹く。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

成長市場での圧倒的No.1を目指す

クラウドWAF市場



※　2019年の市場規模を1.0とした場合の成長率
富士キメラ総研　2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（市場編）より、当社作成。

成長を続ける国内WAF市場における圧倒的No.1を確立する。
グローバルセキュリティメーカーとして、世界中で信頼されるサービスを提供する

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

成長実現における３つの戦略軸

 マーケット戦略	• WAFの導入促進のため、啓蒙活動とプロダクト認知向上を目指し、各種プロモーション等により日本中へリーチしていく • クラウド化の流れに乗り、WafCharmをグローバルへ
 プロダクト戦略	• 各プロダクトを有機的に連携させることで、プロダクトの価値向上、クロスセルによる拡販を目指す • 攻撃遮断くんをクラウドプラットフォームへ
 テクノロジー戦略	• AI・データ・ノウハウを活かし、コア技術の開発へ • 開発したコア技術の、各分野への応用展開を目指す

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

マーケット戦略～WEBセキュリティ対策の啓蒙活動～

WAF導入率を6.7%から更に引き上げるため、
啓蒙活動を強化。
認知度向上と大量のリード獲得を目指す

正しいセキュリティ対策を啓蒙することで、新たな顧客を開拓

※調査概要
名称：改正個人情報保護法成立後のサイバーセキュリティ対策に関する意識調査
調査対象者：20～79 歳の会社経営者・役員（男女）
サンプル数：600 名（従業員規模 100 名以下、101～300 名、300 名超の企業各 200 名ずつ）
調査地域：全国
調査方法：インターネット調査
調査期間：2021 年 2 月 2 日～2021 年 2 月 3 日

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

プロダクト戦略～CSCとソフテックによるクロスセル～

Web脆弱性診断→WAFによる対策→脆弱性管理という一連のプロセスの中で、各プロダクトを有機的に連携させることでプロダクトのクオリティ向上、クロスセルによる拡販を目指す

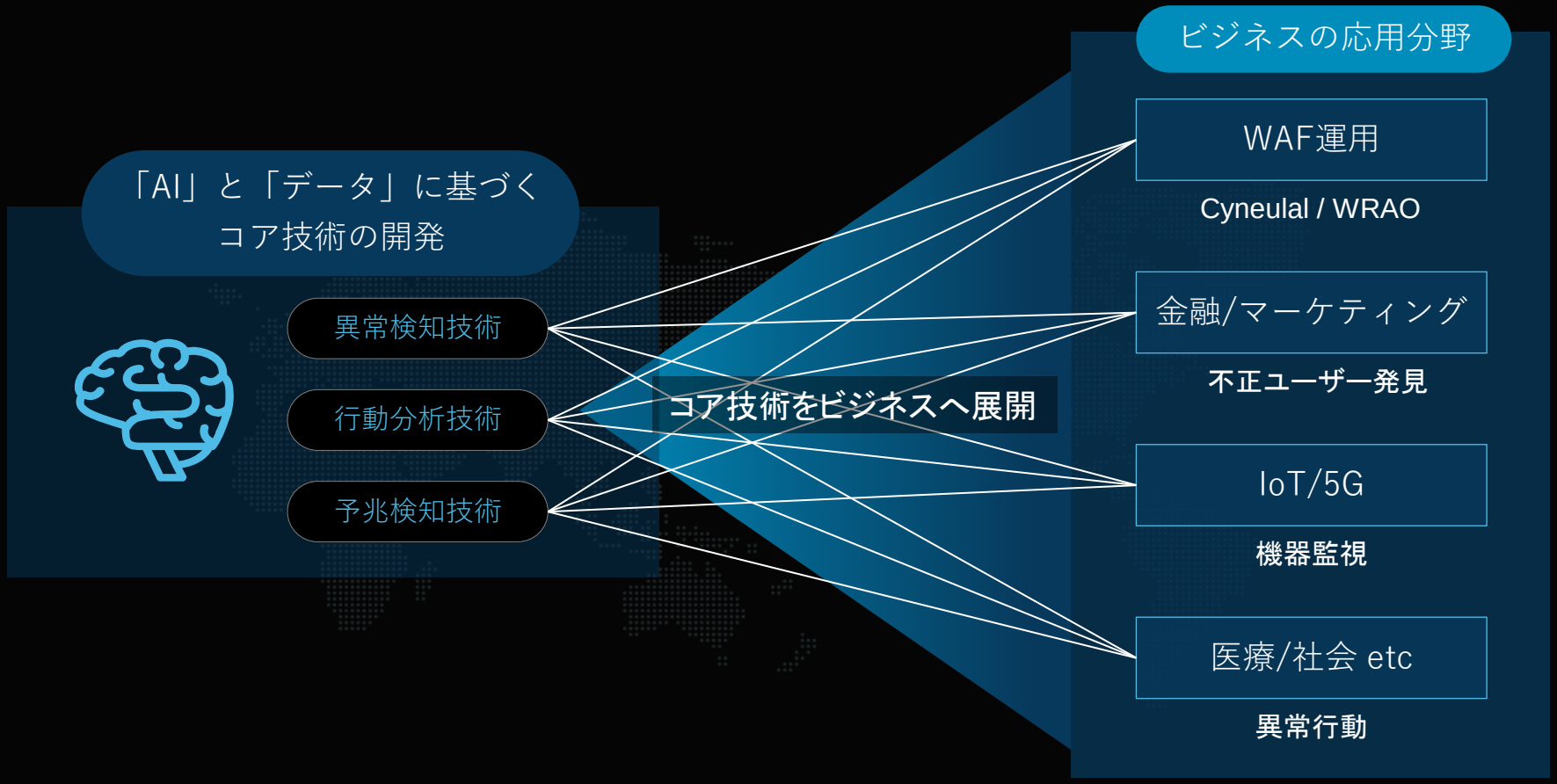
(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

プロダクト戦略②～既存プロダクトの販売チャネル拡張～

サイバーセキュリティクラウド製品をあらゆるプラットフォームで販売するための開発を強化。より簡単に、いつでもどこからでもWAFが利用できる世界を目指す。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

テクノロジー戦略～「AI」と「データ」の活用～



累計1.9兆件※に及ぶ利用者のWebアクセスデータと悪意のある攻撃データをもとに、コア技術の開発を推進。開発したコア技術を各分野へ応用展開していく。

※　2020年12月末時点の当社保有累計ログ数を元に算出（当社調べ）

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅵ. 参考資料

企業理念

世界中の人々が安心安全に使える サイバー空間を創造する。

サイバーセキュリティ

×

AI（人工知能）

攻撃遮断くん

Webサイトへの
サイバー攻撃の
可視化・遮断ツール

Waf Charm

AIによるAWS/Azure
WAF自動運用ツール

AWS WAF
Managed Rules

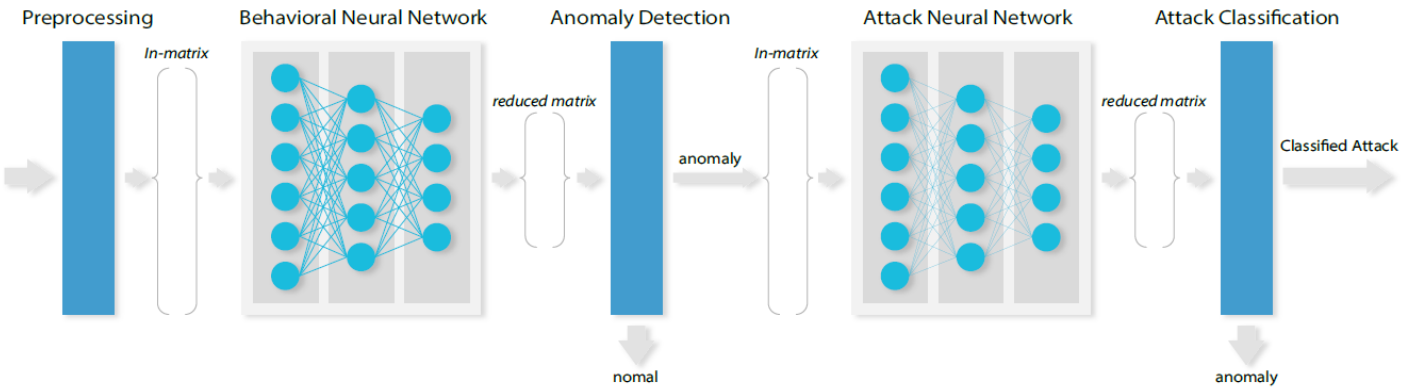
AWS WAFの
ルールセット

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

社会的課題に対するAIの活用

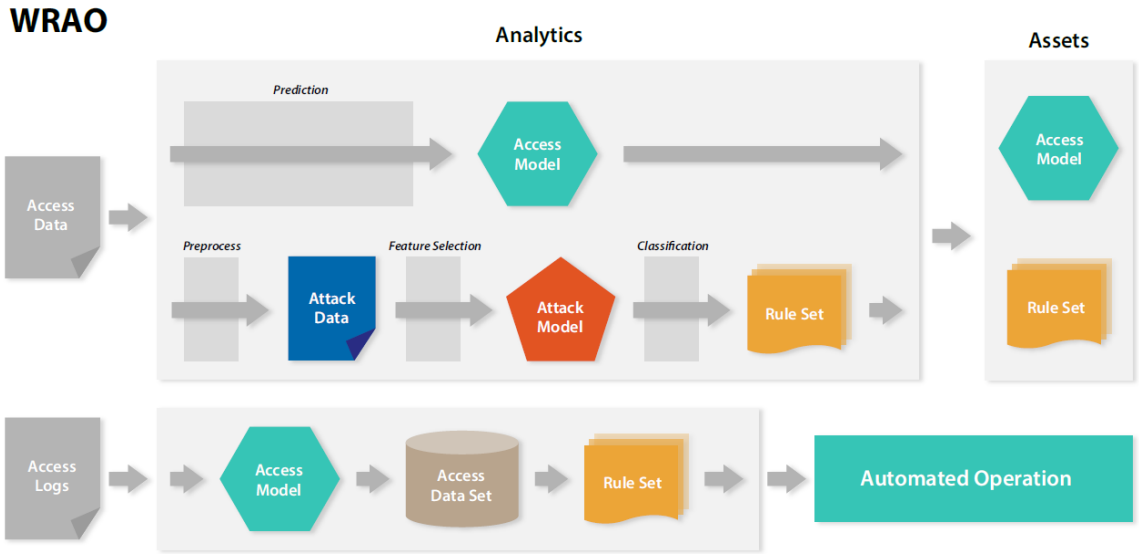
①攻撃の高度化、多様化～未知の攻撃の発見、誤検知の発見～

Cyneural



②セキュリティ人材の不足～AIによる効率化、運用工数削減～

WRAO



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

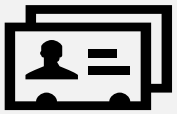
Webサイトへのサイバー攻撃による被害事例

サイバー攻撃は企業の事業活動に様々な影響を与え、個人情報の流出だけでなく、株価の下落や株主代表訴訟に繋がるおそれも

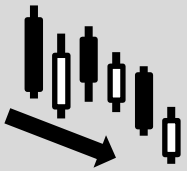
売上機会の損失

ブランドイメージの毀損

損害賠償費用
(約6.3億円/件※1)



個人情報の流出



株価の下落
(平均10%※2)

株主代表訴訟

※1 出典：JNSA 2018年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書
※2 出典：JICI 取締役会で議論するためのサイバーリスクの数値化モデル

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

企業におけるセキュリティの種類は2つに分類される

社内セキュリティ

パソコンや社内ネットワークの
セキュリティ

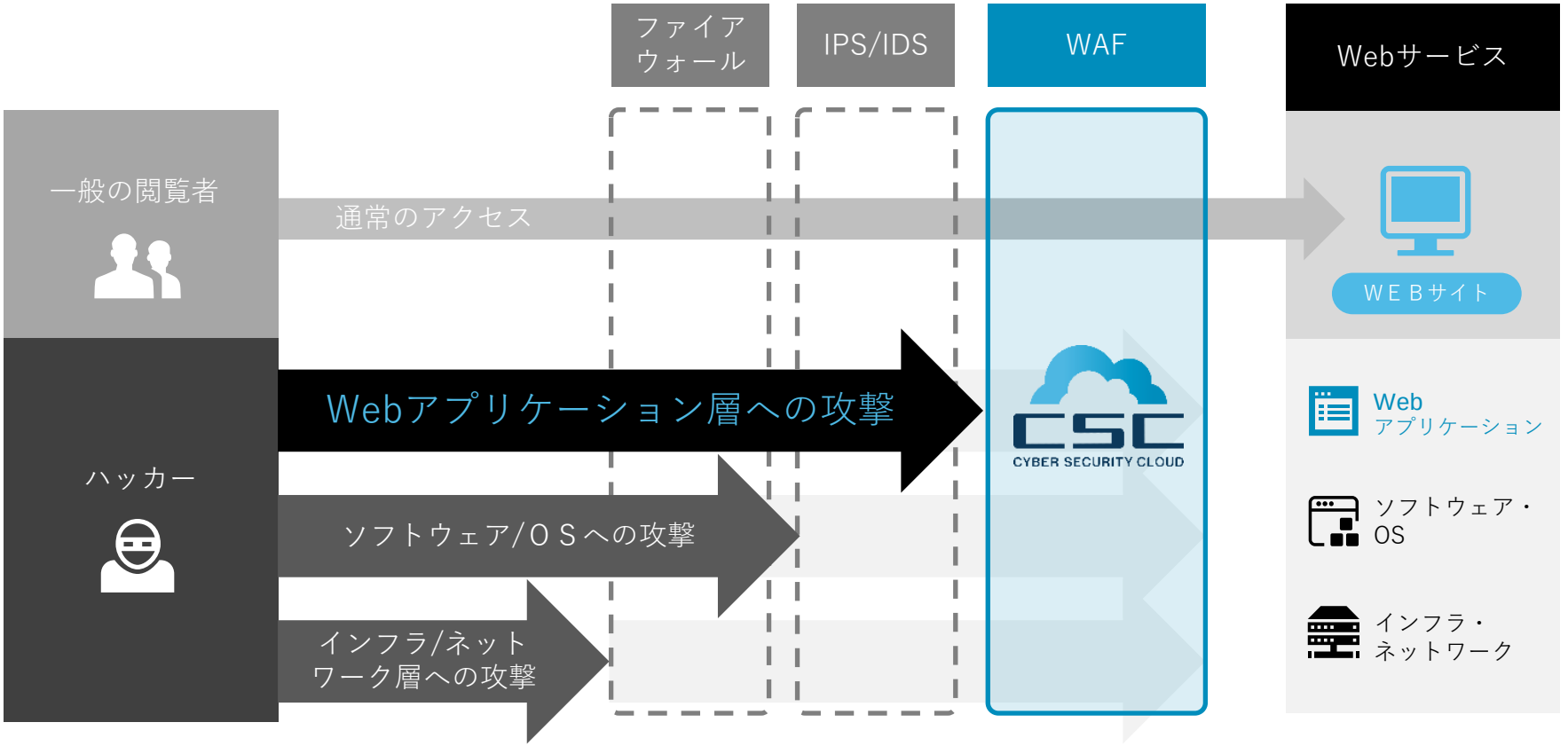
Webセキュリティ

誰もが訪れるWebサイト
などのセキュリティ

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

当社が守る領域

Webセキュリティ領域におけるWAF（Web Application Firewall）とは？

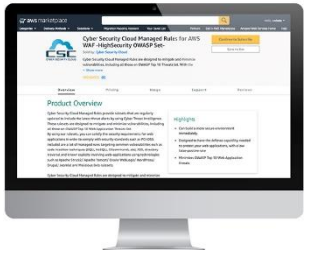


WAFは、「SQLインジェクション」や「XSS」をはじめとした不正侵入による情報漏えいやWebサイト改ざんなどを防ぐファイアウォールのことを意味し、従来のファイアウォールやIPS/IDSでは防ぐ事ができない攻撃にも対応可能。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

提供する３つのプロダクト

主力商品

	攻撃遮断くん	Waf Charm	AWS WAF Managed Rules
			
サービス説明	外部からのサイバー攻撃を遮断し、個人情報漏洩、改ざん、サービス停止などからWebサイトを守るクラウド型Webセキュリティサービス	Amazon Web Services（AWS）の提供するAWS WAF、Microsoftの提供するAzureWAFを利用するお客様に対して、AIによって学習し、WAFを自動運用するサービス	セキュリティ専門のベンダーの提供するAWS WAFのセキュリティルールセットを、AWS Marketplaceにて販売積極的な営業活動なしで拡販が可能
ARR	**966百万円**	**306百万円**	**81百万円※1**
導入数※2	**926** 社	**392** ユーザー	**1,558** ユーザー

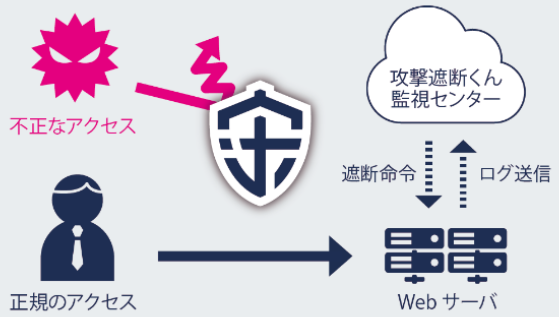
※1　Managed Rulesは米国子会社経由で販売しているため、日本本社の計上額にて算出
※2　2020年12月末時点のそれぞれユーザー数を元に算出（当社調べ）

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

攻撃遮断くんの提供する２つのアーキテクチャ

エージェント連動型

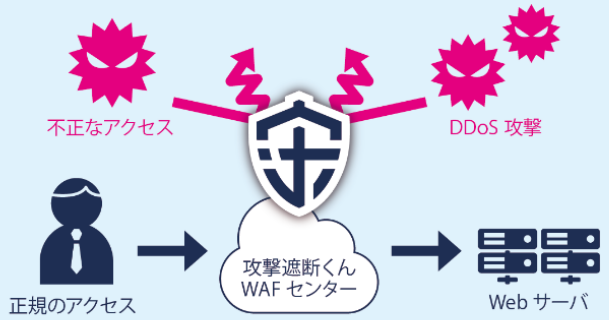
サーバセキュリティタイプ



- クラウド（IaaS）含め多様なサーバに対応
- 障害ポイントの切り分けが容易

DNS 切り替え型

WEB ／ DDoS セキュリティタイプ



- DNSの切り替えのみ
- Webサイトへのリソース負荷がかからない
- DDoS攻撃にも対応

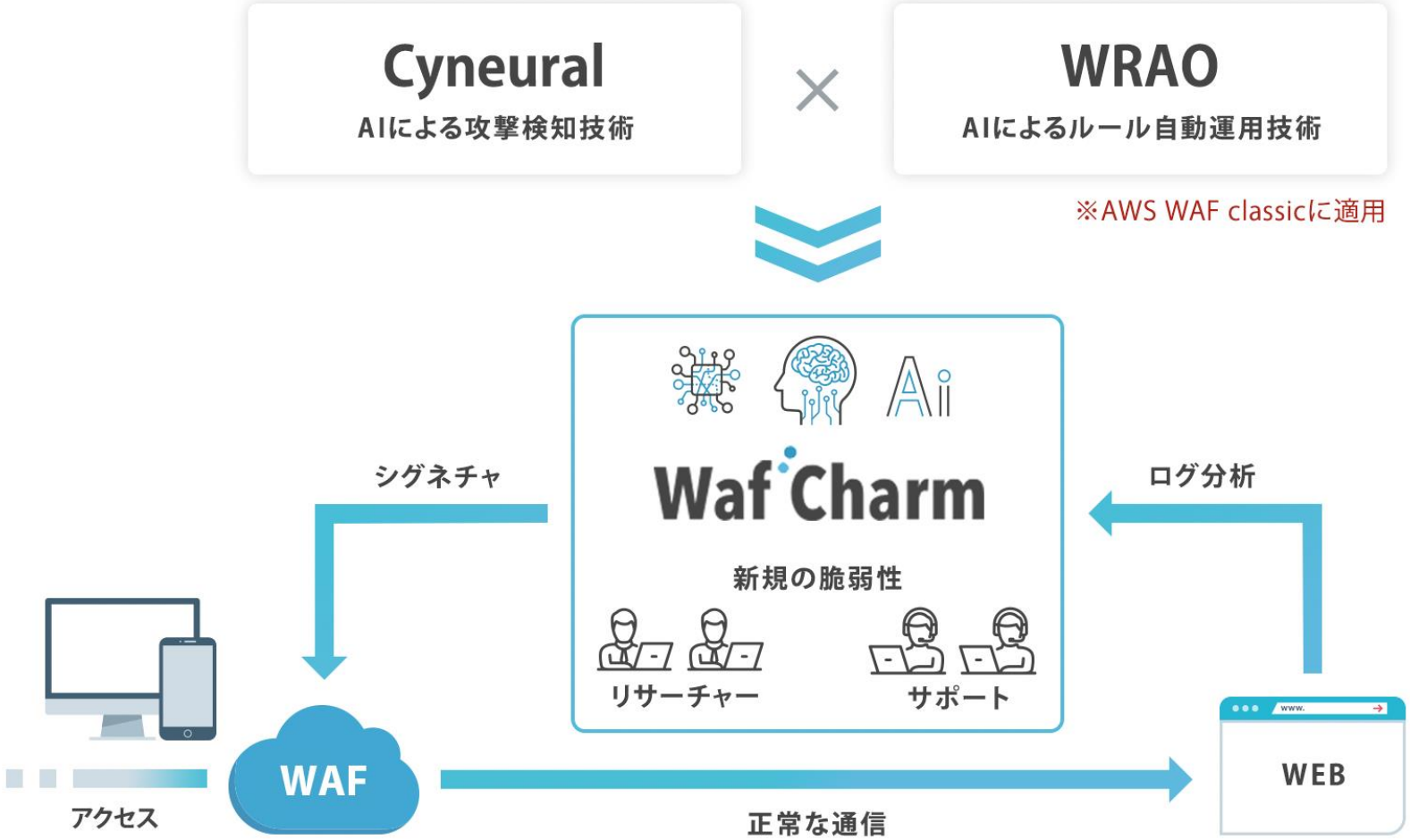
共通

- 専任のセキュリティエンジニアが不要
- 最新の攻撃に対応
- 自動シグネチャ更新

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

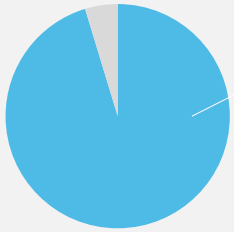
AI×ビッグデータによるWAF自動運用 = WafCharm

お客様環境に最適なルールの作成・設定を実現
導入から新規の脆弱性対応までWAFを手放しで運用可能に



ストック収益ベースの「SaaS型ビジネスモデル」

攻撃遮断くん売上全体に占めるストック収益の割合



96.8 %

■ストック収益
■その他収益

※「攻撃遮断くん」の売上高における直近1年のMRR（2020年12月）が占める比率

高い成長率

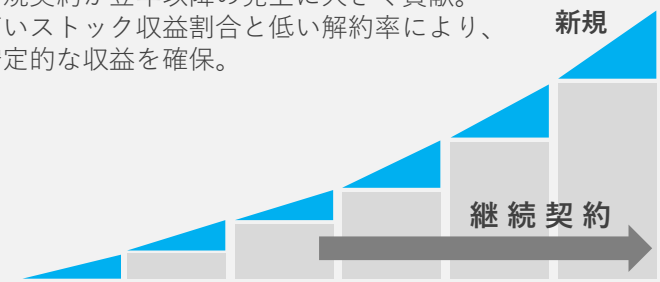
50 Technology Fast 50 2019 Japan WINNER Deloitte.

デロイト トウシュ トーマツ リミテッド
日本テクノロジー Fast 50にて、2年連続第10位を受賞

2019年は338.58%の
収益（売上高）成長を記録

継続課金による安定的な収益

新規契約が翌年以降の売上に大きく貢献。
高いストック収益割合と低い解約率により、
安定的な収益を確保。



低い解約率

攻撃遮断くん解約率
1.24%

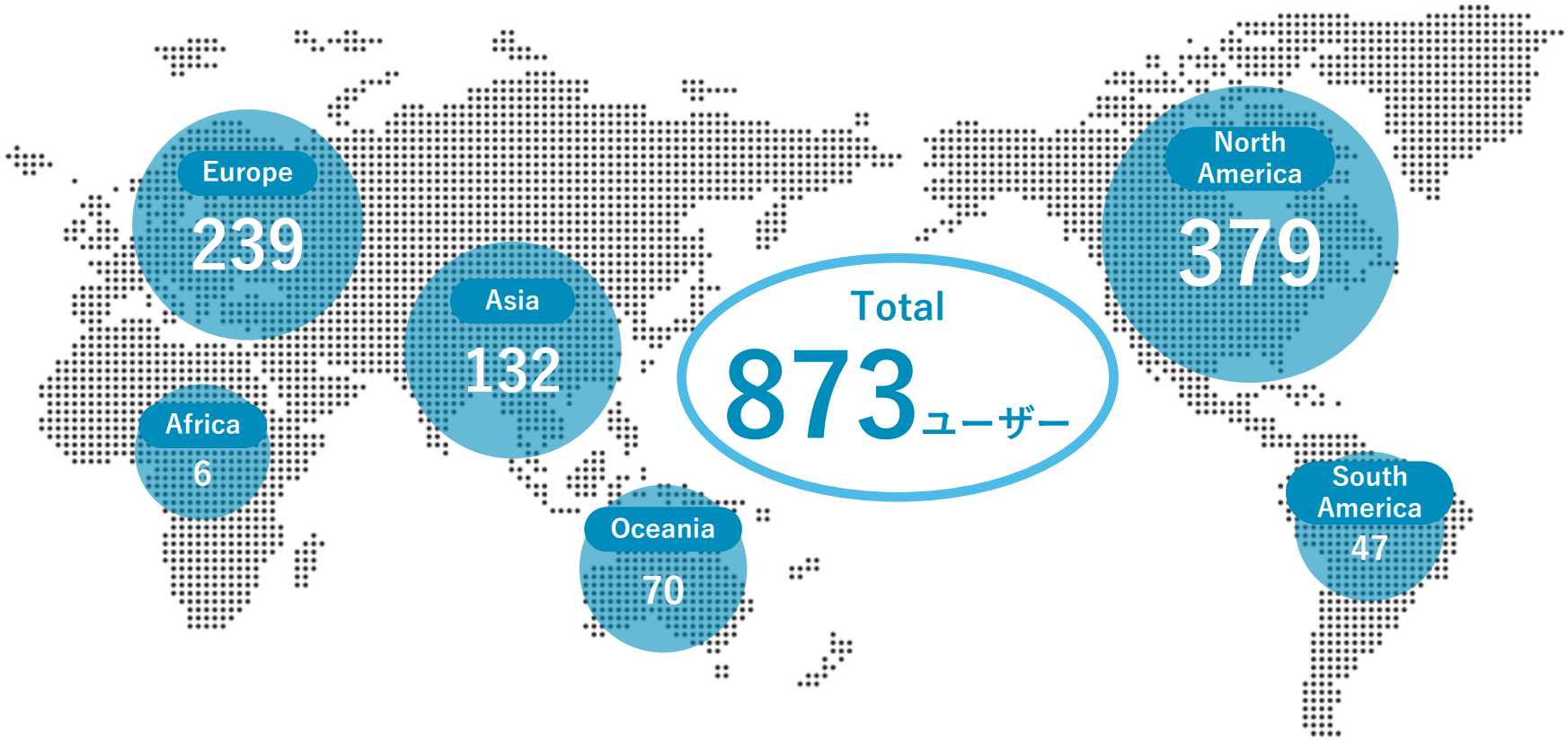
MRRチャーンレート
（2020年1月～12月までの12ヶ月平均）

※MRRチャーンレートとは、当月失ったMRRを先月末時点のMRRで除すことで計算される実質解約率。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

～国外ユーザーの状況～

AWSというプラットフォームを利用し、累計70の国と地域に展開。
国外ユーザー数は合計で800を超える。



※ 2020年12月末時点の当社サービスを利用する国外ユーザー数を元に算出

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

個人情報保護法の改正

2020年6月に個人情報保護法の改正案が可決、2年以内に施行予定 法人に対する罰則規定が強化される

改正スケジュール

- 2020年6月5日の国会において可決、成立し、2020年6月12日に「個人情報の保護に関する法律等の一部を改正する法律」が公布
- 改正法の施行は一部を除き、公布後２年以内
- 今後、政令、委員会規則、ガイドライン等が検討される

改正による企業への内容（一部）

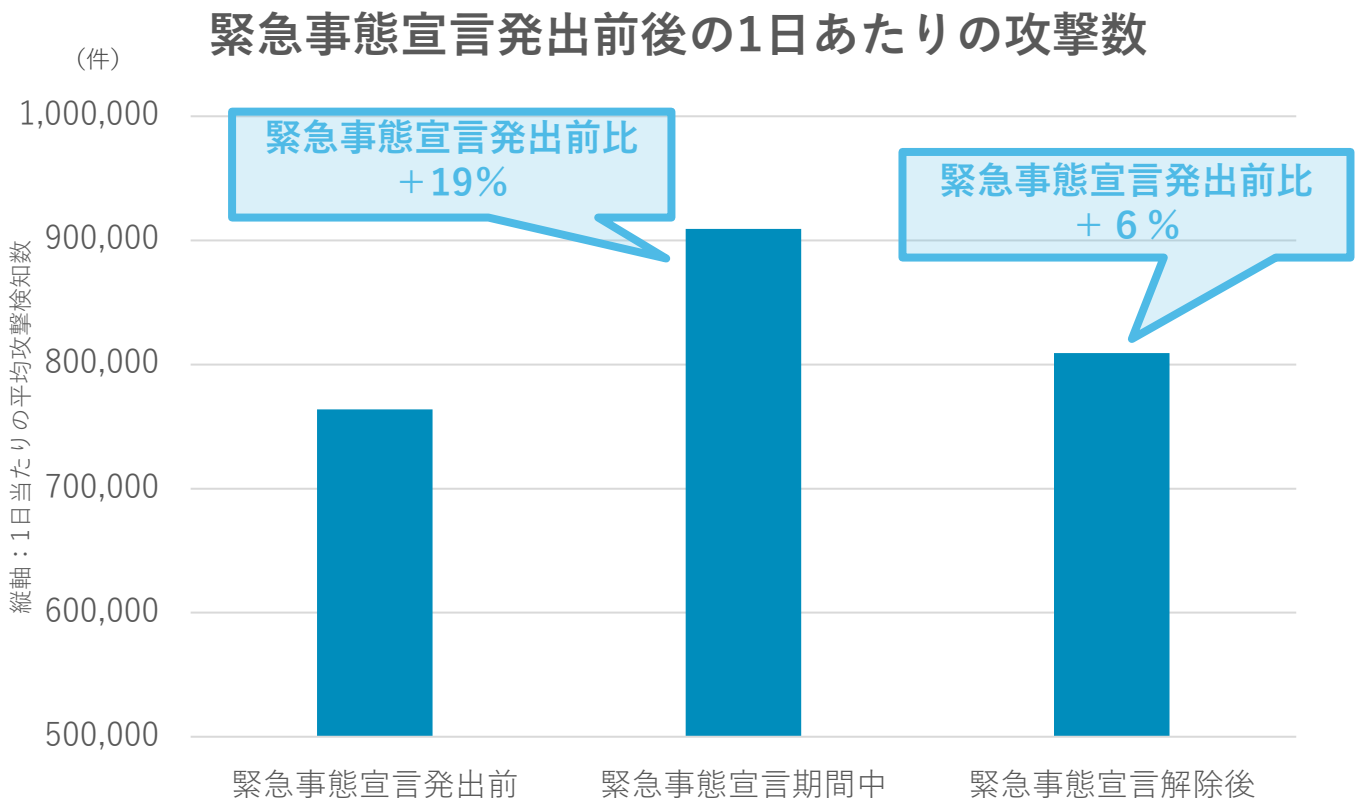
- 個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）の法定刑が引上げ。命令違反等の罰金について、法人に対しては最高額が1億円以下に
- 漏えい等が発生し、個人の権利利益を害するおそれがある場合（※）、委員会への報告及び本人への通知を義務化

※個人の権利利益を大きく害するおそれが大きいものとして、個人情報保護委員会規則で定めるもの

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

緊急事態宣言前後のサイバー攻撃数

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、サイバー攻撃数が増加傾向
今後も攻撃数増加が予想され、更なる被害拡大の可能性も



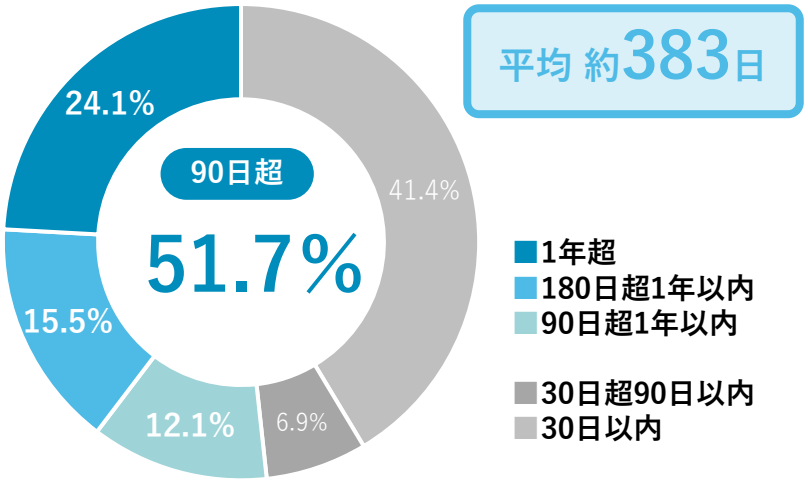
※調査概要
・調査対象期間：2020年1月1日～2020年6月30日
・調査対象：「攻撃遮断くん」、「WafCharm」をご利用中のユーザーアカウント
・調査方法：「攻撃遮断くん」、「WafCharm」で観測した攻撃ログの分析

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

サイバー攻撃から被害発覚・公表までの日数

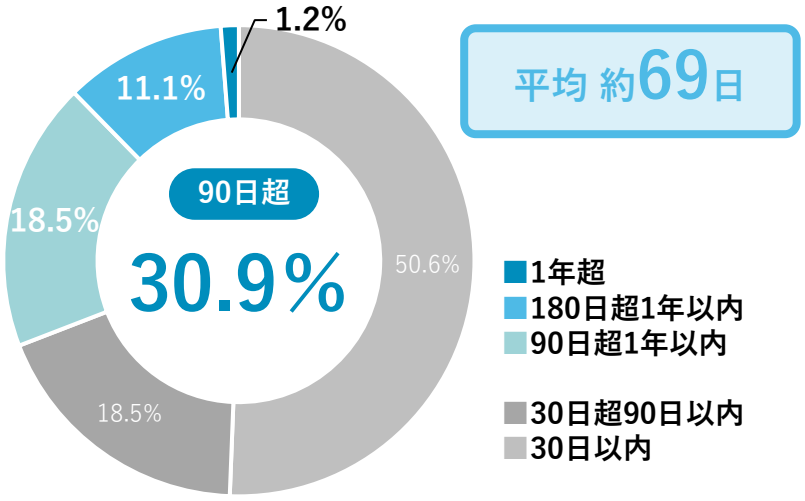
攻撃～発覚、発覚～公表までのタイムラグが明らかに
それぞれ合計すると平均約452日もの日数を経て公表されている

攻撃発生から発覚に要した日数



【n=58】

発覚から公表に要した日数



【n=81】

※調査概要
-調査対象期間：2019年1月1日～2020年7月31日
-調査対象：上記期間までに公表された法人・団体における不正アクセスに関する被害規模１千件以上の個人情報流出事案（81件）
-調査方法：サイバーセキュリティクラウド調べ

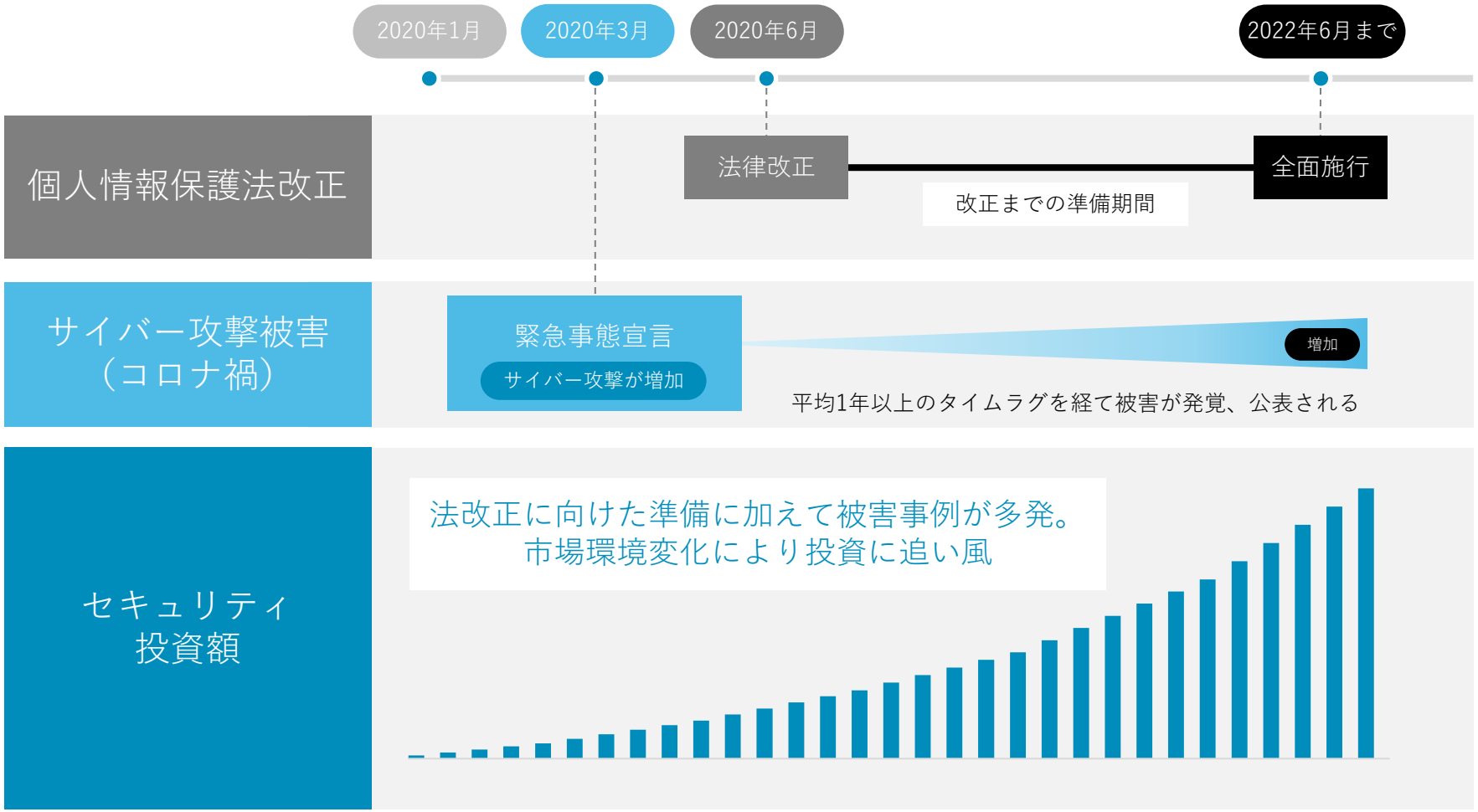
- 50%以上がサイバー攻撃を受けてから被害発覚までに90日超を要している
- 24%以上が1年超も被害が発覚していない

- 30%以上が被害発覚から公表までに90日超を要している
- 一方で50%は30日以内に公表している

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

中長期での市場環境の変化

個人情報保護法の改正に加え、サイバー攻撃が増加
法改正準備に伴いセキュリティ投資が増加していく見込み



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社　　名	株式会社サイバーセキュリティクラウド
設　　立	2010年8月11日
上 場 日	2020年3月26日
代 表 者	代表取締役社長 兼 CTO　渡辺洋司
役　　員	取締役　倉田 雅史（公認会計士）　常勤監査役　安田 英介（公認会計士） 社外取締役　伊倉 吉宣（弁護士）　社外監査役　村田 育生 社外取締役　石坂 芳男　社外監査役　泉　健太
所 在 地	東京都渋谷区東3－9－19　VORT恵比寿maxim3F
事業内容	AI 技術を活用したサイバーセキュリティサービスの開発・提供
子会社	株式会社ソフテック Cyber Security Cloud Inc.（USA）

エンジニア数

社員全体の約半数※

※　2020年12月末時点

グローバル

日本・米国の2拠点体制

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

CYBER SECURITY CLOUD

世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.